

果試ニュース

第1号 平成8年2月



愛媛中生

果試ニュースの発刊にあたって

場長 向井 武

果樹試験場は、バイテク等を利用した新品種の育成、高齢者や女性に適應する作業環境の改善、若い後継者に魅力ある軽労働・省力機械化生産システムの開発、環境保全型農業の考えに沿った病害虫防除技術など、時代の要請に応じていくよう、職員一同全力をあげて試験研究に取り組んでいるところです。

果樹は永年性作物であるだけに、こうした試験研究は多くが3～5年を要し、なかにはさらに長期に及ぶこともあります。しかし、果樹農家の経営向上に少しでも早く役立てるためには、できるだけ効率的に試験研究を進めて、開発した技術を迅速に普及指導に移していく必要があります。

このようなことから、試験研究の成果が部分的であっても、お知らせできることはトピックニュースとして紹介し、参考にしていただくことにしました。この果試ニュースは、これから随時発刊し、夢のある情報紙として育てたいと考えています。

果樹試験場は本場・分場の綿密な連携をとりながら、地域に密着した課題をテーマとして試験研究に精一杯努めてまいりたいと考えておりますので、今後ともご支援くださるようお願いいたします。